



通巻 131 号

安曇野市豊科郷土博物館友の会
令和6年7月10日発行



若い友の会員との関わりを強めましょう

友の会会長 百瀬 新治

豊科郷土博物館で活動している友の会のなかに、唯一の小中学生を対象とした部会である『タカラさがし部』があります。例外的ですが保護者の方と一緒に参加が原則であり、親子中心に多くの会員によって活発に活動していることは、他の部会の会員さんにもご承知かと思います。活動に際して子ども達の指導や世話をしてくれる教員や市の職員の会員も含めると、今年も約70名という最も大所帯の部会でスタートし、毎月1回の体験的活動を進めています。

昨年の信濃毎日新聞における記事に、このタカラさがし部の活動に関係した内容が掲載されました。信毎では、満州開拓移民を中心とした戦争特集をシリーズで扱っており、それに関連した事柄を県下の人たちに取材し載せたのです。三郷小学校5年生 K 君（当時）は、タカラさがし部における活動の一つとして行われた、市内の戦争遺跡や穂高満願寺での学童疎開記録の見学に参加し、その時の内容や感想に現在の戦争の姿なども加えて、『つながる歴史 未来への参考に』というタイトルで発表したのです。

K 君の記事を読んだ私は、部会で顔なじみということもあってすぐに連絡し、しっかりとした意見などを褒めながらお祝いの気持ちを伝えました。会話を続けるうちに、せっかくこのよ

うな戦争と平和に対する意見を持ち、タカラさがし部の活動でさらに具体的に戦争の実状を知ったのだから、さらにいろいろ調べまとめたらどうかと提案しました。また、私は友の会の戦時生活部にも所属しており、戦争について調査したり資料を集めたりしているので、K 君が必要になれば支援もできると話しました。K 君からは、来年もタカラさがし部への参加を希望していて、戦争についてもっと調べてみたいとの返事でした。

今年になり引き続きタカラさがし部に入会した K 君は、張り切って毎月の部会活動が続けながら、7月に予定されている部の戦争遺跡見学活動に合わせて、私と意見交換しながらより深く調べ発表していこうと準備中です。私はそれを見守りながら、友の会でこのような若い世代と一緒に活動がもっと多く実現できればと思っています。私たちの友の会は、発足以来の積み重ねや実績の中で、現在の会員だけでも充実した活動ができるのは言うまでもありません。そこに、これからを担う若い友の会会員が加われば、友の会自体が活性化し10年20年後の友の会活動に展望が開けると考えるからであります。現在の活動をそんな視点で見直していきませんか。



【有明空襲の現場見学 2023.1.28】



【天蚕見学と天蚕紬糸のクラフト作り 2024.6.15】

*** 友の会会報は、当館ホームページに
カラーで掲載しています。是非ご覧下さい。**

第1回役員会・総会



4月12日（金）、第1回役員会・総会が無事に開催できたことに感謝いたします。令和5年度事業報告・会計報告がなされました。その後、令和5年度会計決算及び令和6年度会計予算・事業計画が了承されました。



役員紹介

今年度の役員の皆様です。
大変、お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

会 長	百瀬新治	会 計	千葉 勢子
副会長	藤原恵正	会 計	窪田尚幸・廣瀬洋子
副会長	加藏友美	会計監査	佐々木泉
		会計監査	竹内明子

各部正副部長

部 名	部 長	副部長	副部長
書道部	隼田和子	牟礼梯子	
絵手紙部	高橋久子	千葉勢子	
植物画部	藤田忠士	上條みさを	
山草部	古幡正夫	村田資子	澤柳まき子
写真部	藤松義躬	矢口高志	
戦時生活部	臼井泰彦	藤原恵正	
自然と暮らしの文化部	竹内明子	—	
植物調査部	新倉美智子	—	
郷土史部	古川幸男	—	
タカラさがし部	千村裕一	藤松慎一郎	水木勝俊



友の会活動

◆「第40回 山草・サクラソウ展」令和6年5月3日（金）～5月5日（日）



山草部の皆様が丹精込めて育てた山草・サクラソウ111点（出品者7名）が見事に可憐な花々を咲かせており、多くの来館者の目を楽しませてくれました。

◆「第19回ボタニカルアート展・第38回写真展」令和6年6月1日（土）～6月23日（日）

丹精込めて描かれた鮮やかで繊細なボタニカルアート37点が展示され、レベルの高さに驚くと共に、その緻密さに心を打たれました。

安曇野や県内の風景や季節を捉えた写真19点が出品され、地域の自然や文化財の美しさ、命の輝きの素晴らしさに改めて感動しました。



◆6/16（日）友の会1回目の美化活動ありがとうございました！



2回目は、7月27日（土）8:00～9:00 です。 <少雨決行>

持ち物：飲み物等暑さ対策、草取り・剪定用具

*1回目は、大人23名、子ども4名、計27名の参加がありました。とてもきれいになりました。

2回目も館外の草取りや垣根の剪定を予定しています。友の会の大切な博物館のサポーター活動の一つです。ご都合のつく方は、是非ご参加ください。中止の場合は各部長に連絡します。

◆今後の友の会展覧会予定

展 覧 会 名	会 期
第21回友の会絵手紙展	11月9日（土）～12月1日（日）
第10回戦時生活展	11月9日（土）～12月1日（日）
第70回友の会新春書芸展	令和7年1月11日（土）～2月2日（日）

郷土史部の月に1度の活動は、大きく2つに分けられます。

一つは博物館学習室での古文書講座。夏の暑い期間と、冬の寒い期間に博物館学習室で実施しています。歩くのに適した季節は、安曇野市内の街歩きを年に6回程度実施しています。

今年の街歩きは、吉野（豊科）、長尾（穂高）と実施してきて、昨日（6月29日（土））は、等々力（穂高 江戸時代の等々力村）でした。参加者は、ガイド役も含めて9人、本陣等々力家の駐車場からスタートです。「赤簑騒動」のときの刀疵が付けられた等々力家の門を見学。館跡や堂跡、道祖神や大黒天、馬頭観音像などの石造文化財について、逸見大悟さん（教育委員会）の説明を聞きます。圧倒的に多い、馬頭観音像。さすがに安曇野、馬を多く飼っていて、大切にしていたせいでしょ。不謹慎だと思いますが、古くからのお墓でも、墓石をみたりしてさまざまな話題で盛り上がります。出会った農作業や草取りに従事されている方にも話しかけ、情報収集に心がけて歩きます。時には、文化財ばかりではなく、道端に咲く花にも盛り上がることもあります。

歩いた場所は、現在の近代的で新しい大きな店舗が建ち並ぶ糸魚川街道のバイパスから500mほど西に離れ、自動車が行き交う騒音も聞こえてきません。道は、新しい家の中にも、土蔵が目立ち、いくつか古い構えの家が並び、決して広くありませんが、緩やかに曲がったり、急にクランクになったりします。江戸時代にできあがった穂高宿、成相新田宿を結ぶ糸魚川道より古い道。かつて北安曇から穂高を通して等々力村、白金村、矢原村、重柳村と南北を結ぶ「中世の干国街道」です。今から400年ほど前、ここを数多くの人々が往来したかと想像すると、歩いているだけでも、なぜか楽しくなってきます。まさに、「中世を歩く」、充実した半日を過ごすことができました。

おまけもありました。本陣等々力家から少し南に離れた道沿い。地蔵菩薩像などの石仏、光明真言供養塔、無縫塔（僧侶の墓）などが並び堂跡？を見学しているときのこと。背後に何やら鳥の気配がします。「鳶」「トンビ」です。少なくとも10羽はいます。スズメではありません、トンビが屋根の上に並んでいるのです。トンビのこんな姿をはじめて見ました。デジカメでパチリ。

（博物館に戻り画像を見てもらおうと、幼鳥のようでした。トンビの学童保育所でしょうか）



令和6年度 安曇野市豊科郷土博物館 夏季企画展

令和6年7月27日（土）～9月23日（月・祝）

絵図から何がわかるか！ ……安曇野の江戸時代をみる

【関連企画】 講師：豊科郷土博物館長 原 明芳

◆講座「絵地図を楽しむ」 要入館料・定員30名（先着順）・要申込 開催日10日前より電話にて受付

①「国絵図を比べてみよう」～できあがる村々、大きく変わる地形、交通路～

・日時 8月10日（土）13:30～15:00 ・会場 豊科郷土博物館2階学習室

②「藩領図からみえる大事件」～隣村が、同じ藩でなくなった～

・日時 9月7日（土）13:30～15:00 ・会場 豊科郷土博物館2階学習室

◆現地見学会「古地図をもってムラを歩こう」

・日時 9月22日（日・祝）9:00～12:00 ・場所 明科大足地区 明科支所集合

・参加費 100円 ・定員20名（先着順） ・要申込 9月12日（木）9:00より電話にて受付

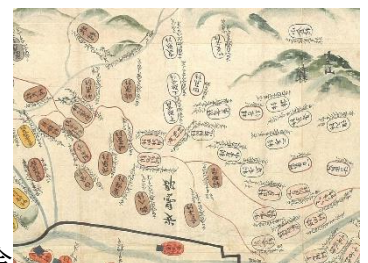
◆大きな古い地図を見よう ・要入館料 ・申込不要 ・時間：10:00～12:00の間と13:00～15:00の間

①7月27日（土）・28日（日）「麻績会田老枚御絵図」（安曇野市文書館蔵）

②8月24日（土）・25日（日）「明治初期の筑摩県第十大区地図」（安曇野市文書館蔵）

◆ギャラリートーク ・要入館料 ・申込不要 ・時間：11:00～と14:00～

①8月3日（土） ②8月17日（土） ③9月14日（土）



【松本藩領図（北安曇教育会蔵）】